

今年度当委員会では、浦安青年会議所が長年かけて築いてきた厳格なシステムとルールに基づき、先輩方が紡いできた規律と共助の精神を根底に据えながら、さらに魅力溢れる活発な運動体へと発展させていく為に、組織力の向上を目的とした運営を行ってまいりました。

まずは2月第一例会にて、定款の規定(第四章36条)により、浦安青年会議所の最高意思決定機関である通常総会を開催しました。当日は例年とは異なる会場での開催であった為、総会議事中に多少のアクシデントがあったものの、定款や運営規程の変更など、重要な案件を含む審議6議案がすべて全員賛成で可決され、2018年度の船出にふさわしい、厳格さ漂う緊張した総会運営ができました。総会議事終了後には2017年度卒業生が5名参加の中、2017年度の会員褒賞も行ったことで、2018年度の運動への原動力となったと考えます。また、2名のオブザーバーに参加していただき、懇親会まで参加していただいた結果、1名の準会員入会につながった事で、組織力の向上につながったものと考えます。

そして、7月第一例会では、第1回臨時総会を開催しました。当日は大川OB会長を含むOB7名の参加の中、2019年度理事長候補者の選出(案)承認の件が、満場一致にて可決され、渡邊次年度候補者が誕生しました。重要な担であった第1回臨時総会を、素晴らしい形で設えた事は、委員会の団結力の賜物と感じました。臨時総会終了後には浦安青年会議所の歴史を築いてこられた諸先輩方に、日頃の感謝の思いと各時代に抱いた思いを引き出すOB親睦会を開催しました。当日は参加者に事前のヒアリングを行い、出席者プロフィール席次表という、当時の思い出のエピソードを記載した、話のきっかけ作りとなる冊子を作成し、和やかで温まるOB親睦会を開催する事ができ、現役とOBとの絆が深まりました。

さらに11月第一例会の第2回通常総会では、会長公式訪問として公益社団法人日本青年会議所関東地区千葉ブロック協議会会長の岡村徳久君をはじめとする千葉ブロック協議会役員4名の方々にご来訪いただいた中、浦安青年会議所の厳格な総会をお見せする事ができました。総会議事では2019年度案件も全員賛成で可決し、2018年度のゴールが見える中、2019年度へ襷を渡す事ができました。

また、審査会議やアジェンダ管理、理事会運営、議事録作成や案内文配信など、総務の担いとして1年間、組織力向上を目指し運営してまいりましたが、所々で細かいミスなどが目立ち、納得できる十分な結果が得られたかと言うと疑問が残る形となってしまいました。やはり青年会議所の基礎となるのは総務委員会の運営ひとつであることが身に染みて実感した1年であり、今後はこの経験を生かし、青年会議所運動に邁進して行く次第です。支えていただいた委員会メンバーの皆さん、1年間本当にありがとうございました。